

令和5年度

# コミスクだより

特別号

金津小学校



金津小学校長 榎千穂子  
学校コーディネーター 吉田 真実

## 第5回 金津の森 俳句大会「金津の森で五・七・五」

令和元年度より実施している「金津の森俳句大会」も5回目となりました。今号では全校のみんなが金津の森への思いや情景を詠んだすてきな句を紹介するとともに、12月1日(金)の表彰式の様子を掲載します。



### 金津の森大賞



低学年の部

きれいだな ムネアカアリの あかいむね

二年 櫻井 大智

講評

みつけたムネアカアリの赤いむねがきれいだなと感じたことが、そのまま素直に表現されています。

中学年の部

森の中 落ち葉をふんで カサカサと

四年 杉本 つむぎ

講評

落ち葉がいつぱいで歩くとカサカサと音が聞こえる、森の静かな様子が感じられます。

高学年の部

森たちに 炭焼き通して 感しやす

六年 山本 結子

講評

金津の森を通し、自然を感じ、楽しんでいる自分の気持ちを言葉で伝えられるよう工夫して詠めています。

# 金津の森賞

## 低学年の部

あきいろの

小さなはっぱが

おどってる

一年 宮下 華

つかまえた

ぶんぶんとんでる

あかとんぼ

一年 村田 葵

どんぐりの

ちいさいぼうし

かわいいな

二年 山岸 大栞

## 中学年の部

まるまって

じぶんをまもる

だんごむし

三年 大山 昇之助

りもりはね

かなづの森の

まもりがみ

三年 中田 華音

すごいよね

かなづの森は

じまんする

四年 下田 稀帆

## 高学年の部

炭作り

みんなで団結

いい学習

五年 市野 叶人

炭作り

あたりが真っ白

なみだ出る

五年 宮下 茉穂

森の中

木々からもらえる

雨もよう

六年 多田 茜

## 低学年の部

いもむしは むにむにしてる かわいいな  
ちいさいな うまれたばかりの どんぐりは  
じゅえきが 木のなかから でてくるよ  
かさかさとおちばのなかから かなへびくん  
はっけんだ わくわくハウス とまりたい  
どんぐり ちいさなこども かわいいよ  
もりのそば くりがおおくて びっくりだ  
あきまつり みんないっぱい たのしんだ  
ねこじゃらし かなづのもりで かれてる  
森にある わくわくハウス すんでみたい  
もりの中 みちがたくさん たのしいな  
どんぐりが いっぱいあるし かわいいな  
森の中 くりがころころ かわいいな

## 中学年の部

虫もいる しぜんなもりだ 楽しいな  
秋の風 金津の森まで ひびいてる  
きれいだな いろんなむしが ないている  
金津の森 木々の緑が いっぱいだ  
かなづのもり いろんなおとが きこえるよ  
森の中 鳥の声が キンキンと  
金津の森 きのがたくさん はえている  
夜の森に ほたるいっぴき めずらしい  
森の木々 みなくつついて さむがりだ  
うつくしい ひがんなのようにな あきかぜは  
九月には はじめて木を うえた  
森の中 木々のすき間に 夕暮れが

## 高学年の部

金津の森 落ち葉の音 聞こえるね  
もえあがる 火達はまるで 夕日みたい  
炭づくり もくもくもくと もりあがる  
感じるな ざんしょがひびく 炭作り  
炭づくり すごく楽しい きれいだね  
金津の森 一度に育つ 金津っ子  
秋の森 自然と仲よし 炭作り  
炭作り いろんな物が 黒くなる  
金津の森 ガサガサ足音 気持ちいな  
みんなで聞く くつわ虫の 鳴き声を  
どんぐりは ころころころと おちている  
日光が 金津の森に まぶしいな  
虫たちの 合唱ひびく おどっちゃお!!  
紅く燃え 夢く散りゆく もみじたち  
秋の森 動物たちは 冬支度  
落ち葉だけ ふんだら音が 鳴りひびく  
金津の森 自然のめぐみ いっぱいだ  
コスモスの花 みんなでそろって きれいだな  
いつ見ても 金津の森が キレイだな

12月1日(金)、金津の森俳句大会の入選作品の発表と表彰式を行いました。

金津の森プロジェクト実行委員の皆さんからも、「全体的にどの俳句も学年ごとに金津の森のすばらしさを詠めていて感激しました。選ぶのが難しかったです。」とお言葉をいただきました。

来年度も、子どもたちの金津の森への思いや感想を表した素敵な俳句に出会えると思うと、とても楽しみです。



金津の森俳句  
大会の俳句  
は、全て児童  
玄関前に掲示  
しています。

金津小学校のホームページではバックナンバーも掲載しています。  
また、金津っ子ちゃんねるにて様々な動画も公開しています。  
ぜひご覧ください。

金津小学校

